中央小学校だより

平成３０年　６月　２６日　　中央小学校　学校通信

プールに入るのは楽しい？



プール開きをしてから 10 日あまりが過ぎました。梅雨の真っただ中ではありますが、晴れる日が多く、水泳の授業も順調に行うことができています。

水が苦手な子は顔をつける練習をしたり、頭が隠れるぐらい水の中に体を沈めたりして頑張って水に慣れようとしています。泳げる子は泳力を伸ばせるよう、目標を決めて努力をしています。

私は水泳の授業は「命を守る授業」であると考えます。海や川へ遊びに行ったとき、あるいは災害にあったとき、おぼれそうになっても、水に慣れていれば、泳ぐことができれば助かる可能性はあります。この夏、一人でも多くの子どもたちが今までよりも水に慣れ、泳力をつけてほしいと思います。

「なかよし」教室ってどんなところ？



中央小学校には「なかよし」教室があります。これは、他の学校にはない特徴です。この教室では、フィリピンや中国の子どもたちに、日本語の勉強や、安心して学校生活を送れるような指導を行っています。



この日は１年生が学校探検に来ていました。日本語の勉強に役立つ本やかるた、日本地図や日本語での時計の読み方表等はもちろんですが、外国の様子がわかるような飾りや世界地図・地球儀等もあります。また、中央小学校の廊下には、いろいろな国の言葉で「ありがとう」「ごめんなさい」「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の表示があります。

１年生の子どもたちは、興味津々で、「なかよし」教室を観察していました。言葉の壁があっても、仲よくなれるように、それぞれの学年でも工夫した取り組みを行っています。中でも、一緒に遊んだり、行事等を行ったりして、共通体験を増やすことは、心と心がぐっと近づくチャンスでもあります。

中心になるのは日本語であっても、日本の子どもたちも、フィリピンや中国の文化や言葉にふれるよい機会になっていると思います。

また、来年度から本格実施となる、英語学習もしっかりやっていきたいと思っています。

授業は楽しい！⑤

1年　おはなしさんすう

「今から先生がすることをよく見ていてください。何をしたか、あとで、見た通りにお話をしてもらいますよ」という先生の言葉から始まった授業。いったい何が始まるのか。子どもたちはわくわくしています。

「では始めます。」先生はおもむろに４つのじょうろが乗ったテーブルをみんなの前に運んできました。そしてその中の２つを手に持ち、どこかに行ってしまいました。戻ってきたときには先生の手にはじょうろはありませんでした。

先生が前に立ちます。「さあ、お話してください。」

「じょうろが４つあって２つじょうろを持って行った。」

「４つあったのに２つを後ろに持っていた。」

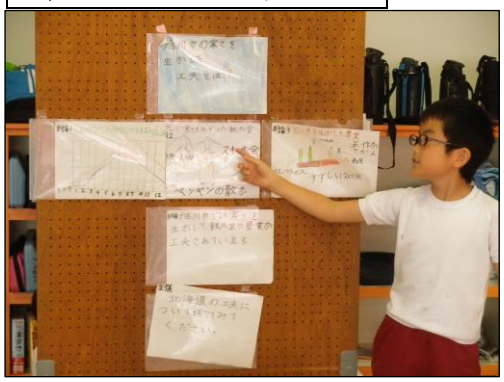
「最初は４個で先生が２個持って行った。のこりは２個。持って行った２個はだれかが使っているかも。」



何と１年生らしい答えなのでしょう。しかも、早くも今日の授業のポイントである「のこりは・・・」というキーワードも飛び出しました。

そのあと、引き算の学習に入っていったのは言うまでもありません。引き算の式を立てる場合は「はじめはどれだけあったのか」「どれだけなくなったのか」「のこりはいくつか」というところが大切になってきます。実演し、１年生にありのまま話をさせ、ブロックを使って確かめることで、子どもたちは、自然に引き算の式に結び付けることができました。

5年　ポスターセッション



５年生は社会科で、「暖かい土地」「寒い土地」「高い土地」の暮らしなど、様々な日本の気候に合った暮らしを勉強しています。高い土地では涼しい気候を活かしてキャベツづくりをするなど、それぞれの気候に合った工夫があります。それを学んだあと、特徴的な事象をＡ４用紙５枚にポスターとして絵やグラフで表しました。その５枚とは、国語の学習で習得した、「序論」「本論①」「本論②」「結論」「筆者の言いたいこと」とマッチしています。そして、そのポスターを見ながら、みんなの前で発表しますが、そのポスターにはほとんど文章はなく、また、発表者は原稿も持っていません。子どもたちは「いきあたりばったり」で話すのではなく、序論では・・・本論①では・・・と話すことを頭の中で論理的に組み立てているのです。そして、原稿なしで話すことによって、聞き手に「自分の言葉」で、より説得力を持って伝えることができるのです。

「論理的に話す力」は国語だけではなく、算数の問題の解答を説明したり、理科の実験や観察の結果からわかったことを説明したり、社会科では、今回の学習のように、資料などから読み取ったことを話したりすることで鍛えられると思います。今後の５年生に期待です。